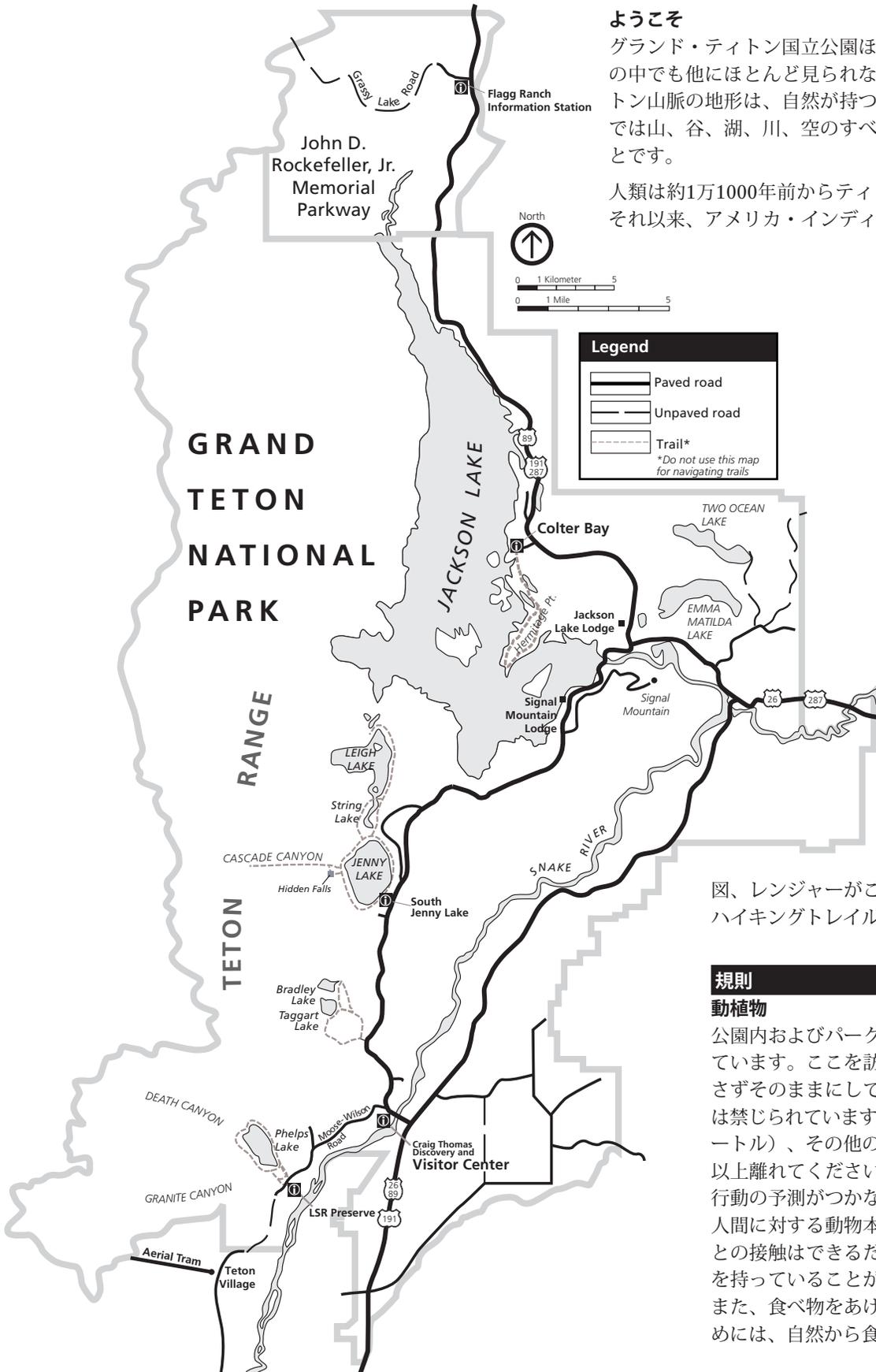


# グランド・ティトン

アメリカ合衆国内務省  
国立公園局



グランド・ティトン国立公園  
ジョン・D・ロックフェラー・ジュニア・  
メモリアル・パークウェイ



## ようこそ

グランド・ティトン国立公園ほど圧倒的で印象に残る景色は、広い世界の中でも他にほとんど見られないでしょう。谷床から突然隆起するティトン山脈の地形は、自然が持つパワーと複雑さを物語っています。ここでは山、谷、湖、川、空のすべてが多様な植物や動物たちのふるさとです。

人類は約1万1000年前からティトン・レンジのふもとに住んでいます。それ以来、アメリカ・インディアンから欧米の探検家たち、そしてフロンティアを求めて旅をし、ここに定住した人々まで、さまざまな人々がこの地域の歴史を作ってきました。現在、国立公園内には300以上の歴史的建造物が残っています。

この雄大で美しい山々を保護しようという願いから、グランド・ティトンは1929年に国立公園に指定されました。その後、ジョン・D・ロックフェラー・ジュニアのビジョンと熱心な慈善活動により土地が追加され、1950年に現在の公園の形になりました。

当公園で心も体も癒していただき、帰宅された後もこの素晴らしい景色が長く皆様の思い出に残るようお願いいたします。

## インフォメーション

グランド・ティトンにはビジターセンターが3か所あり、ジョン・D・ロックフェラー・ジュニア・メモリアル・パークウェイ沿いには情報ステーションもあります。ビジターセンターでは地

図、レンジャーがご案内するハイキングや他のプログラム、ハイキングトレイルなどの情報をご用意しています。

## 規則

### 動植物

公園内およびパークウェイ沿いのすべての動植物は保護されています。ここを訪れる人みんなが楽しめるよう、自然を壊さずそのままにしておいてください。野生の植物を摘むことは禁じられています。クマやオオカミからは100ヤード（91メートル）、その他の野生動物からは25ヤード（23メートル）以上離れてください。大型の動物は動きが早く、力もあり、行動の予測がつかないため、人を傷つけることがあります。人間に対する動物本来の恐怖心を維持させるため、野性動物との接触はできるだけ避けてください。小さな動物は病原菌を持っていることがあるので、決して触れないでください。また、食べ物をあげないでください。彼らが生存し続けるためには、自然から食べ物を得るのが一番なのです。

## 銃火器

ワイオミング州の法律が適用されます。銃火器の所持・携帯は、禁止の掲示がある建物内では禁じられています。許可を得ているハンターが合法的な狩猟シーズン中に行なう場合を除き、国立公園内で銃火器を発砲することは禁じられています。

## 花火

花火やその他の火工品は、いかなる時でも公園内で使用してはなりません。

## キャンプファイヤー

キャンプファイヤーは、火の使用制限令が出されている時を除いて、指定のキャンプ場およびピクニックエリアの鉄製の火床内で許可されています。ジャクソン湖の満潮線の下でキャンプファイヤーをしたい場合は、コルター・ベイ・ビジターセンターで許可を得ることができます。上記以外の場所でのキャンプファイヤーは禁じられています。

## 多目的パスウェイ

多目的パスウェイではモーターを使わない移動手段の通行のみが許可されています。お身体の不自由な方は、電動車いすなどの移動手段をご利用になれます。多目的パスウェイは、野生動物の保護と公共の安全のため、日の入りから日の出までの時間帯は閉鎖されます。ペットの同伴は禁じられています。ただし、お身体の不自由な方が安心してご利用いただけるよう、盲導犬についてはパスウェイへお連れいただけます。

## 遊泳

すべての湖で遊泳ができます。コルター・ベイにはピクニック施設を備えた指定の遊泳用ビーチがありますが、監視員はおりません。スネーク川は流れが速く、水は冷たく、数々の危険が潜んでいますので、遊泳はお勧めしません。

## アクティビティ

すべてのビジターセンターで、サービスやアクティビティのお勧めを記載したリストをご用意しています。

## ジェニー湖

ジェニー湖はグラウンド・ティトンの中でも人気の高いスポットです。ジェニー湖の周囲には豊富なハイキングコースがあります。夏季には、シャトルボートも運航します。シャトルを利用すると、湖の西側のハイキング先であるヒドウン・フォールズやインスピレーション・ポイントまでのハイキングを短縮できます。

## スネーク川の川下り

スネーク川は水が冷たく流れが速いため、川下りの経験のない方にはあまりお勧めできません。しかしながら、流れが穏やかな時には、営業許可を得たガイドが景色を楽しむことのできる川下りツアーを開催しています。川下りツアーを開催しているガイドのリストは、グラウンド・ティトン・ガイド紙に掲載されています。

## ジャクソン湖

ジャクソン湖は、コルター・ベイ・マリーナ、シグナル山マリーナ、リークス・マリーナなど、公園内のさまざまな場所からアクセスできます。各マリーナではボートレンタルを行っており、コルター・ベイ・マリーナではボートツアーも開催されています。

## ハイキング

グラウンド・ティトンには、簡単なトレイルから数日を要する体力勝負のトレイルまで、さまざまなハイキングコースがあります。谷間のコースは主に初級から中級者向けのトレイル、峡谷のコースは中級から上級者向けです。ハイキングの際は、植生を守るためトレイル内に留まるようにしてください。近道をすることは禁じられています。公園内のハイキングについてさらに詳しく知りたい方は、ビジターセンターにお立ち寄りください。

## キャンプ

グラウンド・ティトン国立公園およびジョン・D・ロックフェラー・ジュニア・パークウェイにある6か所のキャンプ場のいずれでもキャンプができます。キャンプ場のスペースは先着順ですので、事前予約は受け付けておりません。グループでのキャンプおよびRVパークについては予約を受け付けております。キャンプ場の空き状況は、入口ステーションまたはビジターセンターにお問い合わせください。周辺の国有林や隣接のエリアには追加のキャンプ場があります。公園内の道路わき、展望台、駐車エリアでのキャンプは禁じられています。また、キャンプサイトの共同使用も禁じられています。予備スペースはございません。

## バックパッキング

公園内またはパークウェイを一晩かけて移動する旅行には、バックカントリー許可証が必要です。クレイグ・トーマス・ディスカバリーまたはコルター・ベイのビジターセンター、およびジェニー湖レンジャーステーションで許可証を取得することができます。バックカントリー用キャンプサイトの3分の1は、1月初めから5月15日までの間、オンラインで事前予約が可能です（1回のご予約につき35ドルの料金がかかります）。予約なしの許可には25ドルの料金がかかります。クマに襲われても壊れない公園認定の食品貯蔵容器の携帯が義務付けられています。許可を取る際、公園内で無料で使用できる容器を確認しましょう。

## 写真撮影

グラウンド・ティトンは写真撮影に大変人気の場所です。印象的な写真が撮れる場所をいくつかご紹介します。

- スネーク・リバー・オーバールック：写真家アンセル・アダムスがティトンとスネーク川の有名な写真を撮った場所です。
- シュワバックカーズ・ランディング：スネーク川の中のビーバー池では、水面に映る逆さの景色を撮ることができます。
- モルモン・ロウの北端にあるモールトン・バーン：ティトン山脈を背景に建つ印象的な史跡です。
- オックスボー・ベンド：朝の時間帯に訪れると、モラン山が水面に映る景色を撮ることができます。